

つくば市福祉団体等連絡協議会について

報告者 斉藤敦子

この連絡協議会は、15の福祉団体で構成されており、毎月第2木曜日に定例会が行われています。

私たちの様に障害者当事者と、障害を持つ子供の親の会が属しておりますが、親の会の方が多く、こちらの議題に偏っていたため、今年6月から、大人部会と子供部会にわかれて行っています。80分間は分科会、40分間は合同です。身障協は大人部会に属しています。

そのほか大人部会には、「高次脳機能障害友の会・いばらき」から代表2名、「福祉型専攻科シヤンテイツくば」から1名、「つくば市聾者協会」から当事者1名と手話2名、要約筆記者が1名、「つくばの会」から1名と介助者1名、私たち身障協から斉藤と野又の2名、計5団体7名+通訳・介助者4名です。

内容は、指定学習40分と講演会の企画や情報交換など20分間で、10月は身障協が指定学習を行いました。荃崎身障協で発足し、つくば市身障協への経過をふまえ、課題やこれからの展望など、会報

誌「ゆうあい」やホームページの紹介などを発表しました。全体会では、部会の内容を要約して報告、順番で各会の紹介を10分間、全体の課題や情報などを共有しています。

ちなみに先月の情報共有として、来年よりつくば市福祉の店がオープンすることが報告されました。12月3日、6日、9日の平日、市役所でプレオープンします。福祉の店では、障害者事業所で作成された手作り品のみが販売されますが、この連絡協議会に属している団体からも出品させて欲しいと要望を出しました。

また、チャレンジアートは来年3月8日、13日展示、舞台発表は3月13日に予定されていると報告がありました。当会も参加を申し込みました。

チャレンジアート

★作品募集★

編み物・押し花
パソコンアート
デザイン画
習字・俳句・川柳

などなど、ジャンルは問いませんのでも手作りの作品をお寄せください。

なくてはならない つくば実証実験バス

2019年4月から3年間を期限として実験的に、各地を巡回している実証実験バス。

高齢者や障害者にとって、大切な移動手段として欠かすことができません。特に荃崎地区の住宅地は陸の孤島といっても過言ではありません。通院・買い物、そして会の活動にも利用させていただいております。我々にとっても必要不可欠なバスなのです。

どうかこれ以降も廃止することなく長く継続をして下さることを切に希望いたします。

その他の交通手段として、つくバス・つくタクがあります。目的に応じて利用させていただいております。



田園風景の中を走るバス

写真入りカレンダー

作成中!

どうぞ期待!

編集後記：ゆうあい 86号発行から大分時間があいてしまいました。新型コロナウイルスの感染拡大が幾分落ち着いてきたようなので、とりあえず発行してみようと思ったのがこの号であります。2ページは寄稿者がご自分で紙面をレイアウトしてくださいました。ちなみに私はスタバのレジの前に立つと緊張してしまいます。3ページのパラリンピックボランティアは非常に貴重な体験です。若い方々のこれからの活躍に期待いたします。寒さに向かうこの季節、お身体には十分気を付けてお過ごしください。

木嶋



柿食えば

青空広がる

牛久沼

自由が丘 結城 英則

お元氣伺い お宅訪問

電話のみで済ませた方がほとんどでしたが、明るい声を聞くことができ、それはそれでよかったです。ありがとうございます。

某月某日、あるお宅に伺いました。

お元氣でよかったです！
その方からお庭の柿をたくさんいただきました。帰り近くの牛久沼に足を延ばし、柿を一つはおばりました。

木嶋記